



1 競技用餅の袋の中に弁慶のお札を入れ、大会の安全祈願を行う／2 三方の重さを計量中／3 競技中にひもがほどけないようにきつく縛る／4 餅と三方の状態を念入りに確認

舞台裏での活躍

90回以上続いている競技大会の運営には、保存会の存在が欠かせません。その役割は、記録係や指導係、準備係、運搬係、測定係など多岐にわたります。そしてスムーズな進行ができるように、事前に入念な打ち合わせも実施。当日の会場を見渡すと、それぞれの仕事に汗を流す保存会会員の姿が目に入ります。

また保存会が一番注意しているのが、大会中に事故やけがないことです。初めて参加する人も多数いるため、持ち上げることができるのか、歩くことができるのかなど出場者の状況に目を光らせています。素晴らしい記録で観客を魅了する出場者たちの表舞台がある一方で、大会を支える保存会による舞台裏。そこには多くの会員が携わっています。

TOPICS 豪華な賞品が盛りだくさん

各部門1～5位までの入賞者には、協賛企業などから豪華な賞品が贈られています。今回は優勝者への賞品を紹介します。



弁慶力餅競技大会の賞品

◆弁慶力餅競技大会優勝賞品

賞品	数量
米(ひとめぼれ) 10 ^{kg}	1袋
もち米 5 ^{kg}	2袋
清酒「関山」	5升
米焼酎「武蔵坊弁慶」	1本
吟醸酒「金色堂」	1本
弁慶ほろほろ漬け	5箱
平泉黄金餅	3箱
辨慶力餅	1箱
日本酒「あさ開」	3升
競技用餅	40 ^{kg}
その他	多数

◆「女性の部」優勝賞品

賞品	数量
商工会商品券	10,000円
食事券	3,000円
にがり酒「弁慶のどぶ」	3本
弁慶ほろほろ漬け	5箱
競技用餅	10 ^{kg}
その他	多数

◆「子弁慶の部」優勝賞品

賞品	数量
商工会商品券	5,000円
辨慶力餅	1箱
黄金ゼリー	1個
秀衡塗	1個
競技用餅	10 ^{kg}
その他	多数

TOPICS 記録を伸ばすコツ

力自慢の参加者でも、初めて挑戦する人の多くが「記録なし」で終わってしまいます。そこで保存会の会員に記録を伸ばすコツを教わりました。



上手な運び方の例

◆バランスが大事！

初参加の人は、160^{kg}の重さに怖がってしまい、体を上手く反らすことができていません。

特に力に自信がある人ほど、腕力に頼る傾向がありますが、あくまでも全体のバランスを保つことが重要。腕力だけでは、三方の重さを支えきれず、重心が崩れ、前に落ちてしまいます。

恐れずに上体を大きく反り、重心線を意識しましょう。上手い人ほど腕ではなく、足腰に負荷がかかっています。



大会前には弁慶の墓前で安全祈願を行う

親から子へ、子から孫へ。世代を超えて受け継がれてきた伝統ある弁慶力餅競技大会。その大会を円滑に進めるためには、弁慶力餅競技保存会の会員の存在が欠かせません。

第5章

舞台裏



上/威勢よくきねを振るう餅つきに観客らの視線は釘付け



左/つきたての餅は好評で、振る舞い餅には長蛇の列が並ぶ

餅文化と競技大会をPR

毎年5月1日には、J.R平泉駅前広場で「弁慶の力餅つき」が行われています。今年は大大会で使用する餅と、観光客らに振る舞う餅をつくために70^{kg}のもち米を用意。しめ縄を張った駅前一角に置かれた臼には、ふかしたもち米が次々と運び込まれ、弁慶力餅競技保存会の会員が代わる代わるきねを振るっていました。

つきたての餅はあんこや納豆に絡めて観光客や乗降客に振る舞われ、餅を食べた人からは「つきたてはおいしい」「思っていた以上に柔らかかった」などといったさまざまな声が聞かれ、お代わりする人もいました。食べた人の感想の中で一番多かったのが「今まで納豆餅を食べたことがない」というもの。納豆餅はこの地域ではありふれた食べ物ですが、「納豆と餅を絡めて食べる」という発想がまず出てこない」と話します。しかし食べた人からは「初めて食べたけどおいしかった」「また食べてみたい」など好評を得ています。このように保存会の活動は、競技大会のPRだけでなく、一関・平泉地域の餅文化の発信にもつながっています。

裏方の思い

弁慶力餅競技大会を開催するために、参加者だけでなく、多くのスタッフが必要となります。大会を円滑に進めるため、舞台裏を支えている弁慶力餅競技保存会の会員に話を伺いました。

参加者に楽しんでもらうことが大事



Interview 菅原 東一さん

参加者が楽しんでくれればうれしい。過去の先輩たちが始めた大会を絶やさないように、今後も続けていきたいです。

さまざまな人の協力があってこそ



Interview 佐々木悠人さん

保存会として大会の運営に携わることで、さまざまな人の協力があって開催されていることに気付きました。

平泉の食文化を知る良いきっかけ



Interview 千田 龍冬さん

5月1日の振る舞い餅は、観光客らが餅を食べることで、平泉の食文化を知る良いきっかけになっています。

女性も楽しめる数少ない地域行事



Interview 武田 彩さん

女性の部が新設され、女性も気軽に参加できるようになりました。参加するだけでなく、大会運営も楽しいです。

平泉らしい地域行事でとても良い



Interview 佐藤 優太さん

初めて餅つきに参加しましたが、餅に弾力があって疲れました。弁慶力餅競技大会は平泉らしい地域行事で好きです。